

## 地域連携開放講座

# 森田地区まちづくり支援事業

仁愛女子短期大学 教授 内山 秀 樹

### もりた夢駅～「夏物語」：JR 森田駅 7月17日（月：海の日）

歩いて暮らせるまちづくりの核になるJR 森田駅に関心や愛着を持っていただくことを目的に2009年から開催されてきた「もりた夢駅～夏物語」。今年は環境1回生全員が「地域環境論」の一環として、内山研究室のゼミ生2回生9人が「演習I」の一環として参加しました。1回生は、授業で6グループに分かれてワークショップを行い企画のアイデアを出し合い、準備を進めました。

当日は、午後1時から現地での準備開始。汗まみれになりながらも楽しみながらがんばりました。本番は4時。もりたん顔出しパネル（仁短生活環境専攻）、エコキャンドル作り、もりたんグッズ（仁短生活環境専攻）、紙芝居と人形劇コーナー（仁短絵本同好会）、芳籠子ども太鼓、バルーンショー（仁短ジャグリング同好会）、ミニコンサート（仁短軽音楽サークル）などを楽しみました。日没の午後7時にエコキャンドルの点火式、エレクトーン演奏（仁短音楽学科）でクライマックスを迎え、大きな拍手とともに無事終了しました。今回は、地域の子どもから大人まで約300人が訪れ、楽しんでいただきました。

また、12月に地元主導で取り組まれた「森田駅イルミネーション2012」には、7月の「夏物語」に参加した1回生有志5名が参加。森田地区のキャラクターもりたんの「駅長



もりた夢駅～夏物語ピラ同、ポスター

ステージの飾り付けデザイン



バージョン」と「もり子ちゃんバージョン」を制作し、駅正面に飾られ2月末まで地区住民の心を和ませました。しかし、残念なことに「もり子ちゃん」イルミネーションがLEDごと持ち去られ、無残な姿になってしまいましたが、「これも出来がよかったためだろう」と、関係者一同、前向きな解釈をしています。

スーパースクールすくい



絵本サークル



森田駅イルミネーション2012冬（もりたん駅長、もり子）

## もりた夢市

「地元産、手づくり、オリジナル」をコンセプトに、平成19年から森田地区活性化委員会が取り組んできた「もりた夢市」。7月24日で第8回を迎え、11月13日の第9回も含め参加しました。

生活環境専攻は内山研ゼミ生9名、前田研ゼミ生6名が参加。6月以降企画準備打合せにも参加しながら店舗の看板デザイン、商品企画を4週にわたって検討。トンボ玉、箸置き、コースター、小物入れ、シュシュ、リボン、ティッシューパーケースなどのオリジナル商品で消費者の反応を問うという力試しの意味も込めて「デザイングッズ店」を出店しました

食物栄養専攻は「栄養研究サークル」8人が「手づくり菓子店」を出店。オリジナル手づくりパウンドケーキ、クッキーを出品。この店のパウンドケーキは毎回開店前から客が並ぶ人気商品として定着しています。



リボン／シュシュ



ティッシューパーボックス



とんぼ玉



コースター／小物入れ



デザイングッズ店